

リデュース  
 ヨコハマ R 委員会 検討結果

(提案者自らが新たな取組を実施していくことを前提とした提案)

テーマ	子ども靴のリユース（廃棄される子ども靴のリデュース）		No.	22-A1
提案者	緑区 男性	提案日	平成22年10月14日	
		検討会議	平成22年11月30日	
<b>【概要】</b>				
子ども用の古靴を集め、ボルネオ島の子ども達に送りたい。				
<b>【内容】</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボルネオ島（インドネシア、マレーシア、ブルネイ領）の子ども達に送るために、年間100足程度の子ども用古靴を集めたい。</li> <li>・ 毎年数か月をボルネオ島で暮らしており、滞在中は、現地の友人たちと一緒に、現地の子もたちへの支援活動を行っている。</li> <li>・ どこかでリユース用の古靴を集めているイベントがあれば、分けてほしい。または、既存のイベントの一部に古靴を集めるコーナーを設けられないか。</li> </ul>				
<b>【3Rのポイント】</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣類に比べ、靴は衛生上の懸念などからリユースが進みにくい。</li> <li>・ 成長によってサイズが変わるため、まだまだ使える子ども靴が捨てられている。</li> </ul>				
<b>【検討会議での主な意見】</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案者は100足程度を集めたいとの希望であるため、必要以上に集まりすぎたり、状態の悪いものが集まった場合、それらの処分に困ることになるだろう。</li> <li>・ リデュースにつながる取組であり、支援を検討したいが、具体的な支援策の提示は難しい。</li> <li>・ 集めた場所から提案者に送る費用も必要となるので、協力者は緑区内がいいだろう。</li> </ul>				
<b>【結論】</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑区内のリサイクルショップに、協力の可能性について打診し、提案者に紹介する。</li> <li>・ 回収を実施する際は、ヨコハマRひろばホームページにてPRが可能な旨を伝える。</li> </ul>				

リデュース  
**ヨコハマ R 委員会 検討結果**

(提案者自らが新たな取組を実施していくことを前提とした提案)

テーマ	小売店における食品トレーの削減		No.	22-A2
提案者	瀬谷区まちづくり区民の会	提案日	平成22年11月10日	
	地球にやさしいゴミ問題プロジェクト	検討会議	平成22年11月30日	
<b>【概要】</b>				
スーパーなどの小売店における肉や魚の販売に使われている食品トレーを削減する				
<b>【内容】</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 瀬谷区内にあるスーパーマーケット（フジスーパー、相鉄ローゼン）と食品トレーの削減を進める話を月1回程度行っている。</li> <li>・ 来年の2月前後に、食品トレーを省いた生鮮食料品等の特売セールを含めた食品トレーの削減キャンペーンを行う予定となっている。</li> <li>・ チラシ・のぼり等のPR ツールの作成や、キャンペーン当日の応援などについて、支援を検討してほしい。</li> </ul>				
<b>【3Rのポイント】</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品トレーの食品販売を簡易な包装や、リユース可能な容器による販売に変更することで、不要なプラスチックを減らすことができる。</li> </ul>				
<b>【検討会議での主な意見】</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者の取組を市民が応援するものであり、推進すべき取組である。</li> <li>・ キャンペーンが実現すれば、他のスーパーにも波及効果が期待できる。</li> </ul>				
<b>【結論】</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当日のキャンペーンに向け、チラシ、ポスターやのぼり等の啓発ツールの作成を支援する。</li> <li>・ 区役所を通じた、各町内会への周知等に協力する。</li> <li>・ キャンペーン当日は、委員は視察も兼ねて応援として参加する。</li> <li>・ 今回のノウハウを他区等でも活用するため、記録を残し、共有する。</li> </ul>				

## ヨコハマ<sup>リデュース</sup>R 委員会 検討結果

(提案者自らが新たな取組を実施していくことを前提とした提案)

テーマ	「環境絵日記」による市内小学生及びその家族への リデュース意識の向上		No.	22-A3
提案者	横浜市資源リサイクル事業協同組合	提案日	平成22年11月19日	
		検討会議	平成22年11月30日	
【概要】				
「環境絵日記」の募集を通じ、夏休みに小学生やその家族がリデュースについて考えるきっかけを提供するなど、啓発活動に活用してほしい。				
【内容】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横浜市内の小学生を対象に、10年前から毎年、「環境」や「リサイクル」をテーマに、絵と文の組み合わせで自由に表現した絵日記を募集しており、2010年は14,765作品が集まった。</li> <li>・ 「環境絵日記」のテーマとして「まずは物を買う前に、あるいは作る前に「リデュースできないかな?」と考える」ことを導くような項目を設定すれば、リデュースの啓発に役立つと思う。</li> <li>・ 応募用紙に、テーマについて家庭で話し合った内容を絵日記に表現することを呼びかければ、家族でリデュースに対する気づきにつながる効果も期待できる。</li> </ul>				
【3Rのポイント】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リデュースは、リサイクルやリユースに比べてわかりにくいものであり、絵日記に表現するにあたり、具体的な状況を考えてもらうことで、リデュースへの理解を効果的に深めることができる。</li> </ul>				
【検討会議での主な意見】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業手法も含め、素晴らしい事業内容だと思う。</li> <li>・ 企業の協力も得ており、事業自体は完成されている。</li> </ul>				
【結論】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本事業に対する具体的な支援は必要ないが、今後、リデュース啓発の一つの手段としての活用方法を検討していく。</li> <li>・ 「ヨコハマR委員会が応援している」事業であるということを対外的に示す方法等について、今後検討を進める。</li> </ul>				

## ヨコハマ<sup>リデュース</sup> R 委員会 検討結果

(提案者自らが新たな取組を実施していくことを前提とした提案)

テーマ	ゴミコン（産業廃棄物の活用アイデアコンテスト）の開催	No.	22-A4
提案者	(株)ケンエレファント	提案日	平成22年11月24日
		検討会議	平成22年11月30日
<b>【概要】</b> 産業廃棄物（事業者が製品を製造する過程などにおいて生じる廃材等）を有効活用するアイデアのコンテストを開催する。			
<b>【内容】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 面白いアイデアでゴミを減らす事を目的とし、事業者が製品をつくる過程で発生した産業廃棄物を活用して製品をつくり、廃棄される量を減らすとともに、毎日どれだけ廃材が出ているのかを知ってもらう。</li><li>・ 協賛企業の紹介・運営のための資金繰り・ゴミコンシンポジウム開催の相談などをしてほしい。</li><li>・ H23年10月末に開催予定で計画中。</li><li>・ 今まで、廃材を活用したノベルティグッズなどの作成を通じ、廃材を活用してほしい企業のニーズと、廃材を活用して何かを創り出したいデザイナーのニーズを非常に強く感じている。</li></ul>			
<b>【3Rのポイント】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 産業廃棄物のリデュース</li></ul>			
<b>【結論】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 現段階では企画段階であり、今後、事業内容が具体的になり、横浜との関連性もはっきりしてから、具体的な支援策について検討していきたい。</li><li>・ 「ヨコハマ<sup>リデュース</sup> R 委員会が応援している」ということを対外的に示す方法等について、今後検討を進める。</li></ul>			